

志太3市長が、志太地域の連携・協力の強化を確認

〔企画調整課 36・7120〕

島田市の染谷絹代市長、藤枝市の北村正平市長、焼津市の中野弘道市長による初めての「志太3市市長会談」が、7月22日に島田市役所で開催されました。

会談では、歴史的なつながりがあり、生活圏・経済圏を一にする志太地域が、魅力ある、活力ある地域づくりを推進していくため、さまざまな連携施策に取り組んでいくことに合意しました。

市長会談は今後、毎年7月に開催することとし、次回は藤枝市で開催する予定です。今回の会談で合意した項目は、次の2点です。

【危機管理対策】

大規模災害に備え、3市連携で危機管理体制を構築する。現在、藤枝市と焼津市の2市で実施している福祉避難

副市長に渡辺学氏、教育長に濱田和彦氏が就任

〔秘書課 36・7117〕

〔教育総務課 46・5613〕

7月10日、島田市副市長に渡辺学氏（60歳・横井）が就任しました。任期は4年間。渡辺氏は、昭和52年に市役所に入庁。企画部長、建設部長などを歴任し、平成23年4月から総務部長を務めていました。

7月15日には、教育委員の互選によ

所や避難所の相互利用、被災者支援システムの構築について、島田市への拡大を検討。また、浜岡原子力発電所との安全協定については、緊急時防護措置準備区域（UPZ）圏域の他市町に3市で呼び掛け、対策を検討していく。

【広域観光の推進】

志太3市には、富士山静岡空港や東名・新東名高速道路など、交通インフラが集中していることから、交流人口の拡大を目的とした広域観光の推進に向け、3市で連携して取り組んでいく。



握手を交わす3市長

り、島田市教育長に濱田和彦氏（61歳・細島）が任命されました。任期は4年間。濱田氏は、川根中や島田第二中の校長、島田市教育委員会学校教育課長などを務めました。



渡辺副市長



濱田教育長

ホームページで市債残高を公表「借金時計」

〔財政課 36・7123〕

国の財政収支の悪化、長期債務残高の増加などにより、市の市債残高への市民の皆さんの関心が高まっています。そこで、市債残高をわかりやすく表示し、市の財政状況を理解していただくため、8月5日から「借金時計」を市ホームページに掲載しています。借金時計は、昨年度末の市債残高と、本年度末の市債残高見込みの差額を1

秒単位で増減させて、現時点での市債残高を表示するものです。

表示金額は、一般会計ベースと、5つの特別会計を合わせた全会計ベース。加えて、それぞれの市民一人あたりでの表示の、4種類に切り替えが可能です。



市長と市民が、子育てをテーマにFM島田でトーク

〔広報課 36・7118〕

FM島田の行政情報番組「マイホームタウン島田」市長と語ろう」の第1回収録が、7月17日に市役所で行われました。これまでの市長インタビュー方式を一新し、市長と市民、聴き手の三者座談会形式に変更。市民の皆さんが出演することで、FM島田を聞く人、市政に興味を持つ人が増えればと考えています。

第1回目は子育てをテーマに、子育て中のお母さんを代表して、大塚朋子さん（細島）と、杉山貴子さん（旭町）が出演。「こども医療費助成」や「子育てカレンダー」などについて意見を交わし、市長は「子どもを産むなら島田市で、子育てするなら島田市で」と思ってもらえるような子育て施策を

行っていきたい」と話しました。

「マイホームタウン島田」は、平日の昼0時5分頃から20分間。「市長と語ろう」は、毎月原則第4月曜日と翌日の2日間に分けて放送します。再放送は、放送当日の午後6時15分頃から、翌日の午前7時30分頃からです。

8月は地域医療をテーマに、9月は島田大祭と島田の観光をテーマに放送を予定しています。市のホームページからは、これまでの放送内容（過去2カ月分）の音声配信しています。
<http://www.city.shimada.shizuoka.jp/kouhou/gyouseibangumi.html>



平成27年度「ばら制定都市会議」開催地に島田市が決定

◎市街地整備課 ☎36・7187

「第22回ばら制定都市会議」（ばらサミット）が、7月11日・12日に北海道岩見沢市「いわみざわ公園」で開かれ、島田市を含めた全国加盟団体の9市3町から、約50人が参加しました。

ばら制定都市会議には、ばらを市や町の花として制定していたり、ばらが広く住民に愛好されたりしている、全国の22市町が参加。ばらの増殖と普及

のため、ばらに関する情報交換や技術の交流などを行っています。

サミットでは、各自治体の市長や副市長らが、ばらを活用したまちづくりの概要を発表。「地域住民と連携・協働して、ばらを愛し、育むまちづくり」に努め、次の世代に誇りをもつてふるさとを引き継いでいくとうたう「サミット宣言」を採択しました。

また、平成27年度開催地に、島田市が正式決定されました。

自治会長連合会が岩手県山田町と大槌町を視察

◎秘書課 ☎36・7117

東日本大震災による被災地の現況や自治会運営などを視察するため、7月23日から25日にかけて、自治会長56人と染谷市長らが、災害廃棄物の受け入れを通じて交流を深めている岩手県山田町と大槌町などを視察しました。

山田町では、発災当時の体験や学んだ教訓、そして今の山田町を「震災の語り部」として伝えている新生やまだ商店街協同組合事務局長の椎屋百代さんの案内で、被災地の現状を実際に見て歩きました。

大槌町では、八木澤弓美子大槌保育園長から、震災前まで園で行ってきた避難訓練の様子や、震災当日の避難状況、そして園児を親族に引き渡すまでの様子などについて、貴重な体験談が

語られました。

現地を訪れた自治会長からは「自然に対する保全と警戒の念を持ち続け後世に伝えて行かなければならない」「実体験を聞き、今後の防災体制に取り入れていきたい」などといった声が聞かれました。



椎屋さん(右)の話しに耳を傾ける参加者

国際陶芸フェスティバル「陶芸アート教室」受講者募集

◎文化課 ☎46・2344

山村都市交流センター「ささま」に完成し、7月24日から3昼夜連続で、焼き込みを行った穴窯「ほたる窯」。

7月31日に取り出すと、他の窯では見られない自然釉が掛かり、美しい風合いで魅力あふれる作品が出来上がっていました。この本格的な穴窯で、11月のフェスティバルに向けて自分の作品を焼いてもらう「陶芸アート教室」を開催することになりました。

この教室では、1人2個程度の作品を作り、ほたる窯で10月上旬に3昼夜連続で焼き込みます。完成した作品は、11月23・24日に同センターで行われる「第2回国際陶芸フェスティバルinさ

さま」の会場で、受け取ることができます。

【開催日・場所】

◎9月14日(出)午後1時から

山村都市交流センター

◎9月16日(出)午後1時から

夢づくり会館

◎9月21日(出)午後1時から

島田市博物館

定員/各会場30人

参加料/3000円

申し込み・問い合わせ

公共施設などに備え付けの申込書に必要事項を記入の上、申し込み

※詳しくは、文化課または山村都市交流センターささま(☎54・0661)までお問い合わせください。

島田市子育て支援ネットワークが市長と語る会

◎児童課 ☎36・7159

市内にある約80の子育て団体でつくる子育て支援ネットワークによる、「市長と語る会」が7月22日、市役所で開かれました。

語る会には、ネットワークの皆さん約50人が参加。染谷市長が、市の子育て施策について説明し、学校給食や公園整備、放課後児童クラブなどの質問に対して、丁寧に答えていきました。

このネットワークは、平成19年に子育て支援の輪を広げようと結成。地域

で親子ふれあい遊びや読み聞かせなど子育てを支援するグループをはじめ、幼・保育園や放課後児童クラブなどを組織しています。



「市長と語る会」の様子